

■病院概要

1. 当院の沿革

済生会は、明治天皇の御下賜に基づく恩賜財団として明治 44 年(1911 年)に発足し、その後幾多の紆余曲折を経て、戦後は社会福祉法人として全国 97 の病院・診療所、293 の福祉施設(2017 年度)を運営し、総従業員数は 60,000 人余に昇る、日本最大の社会福祉法人である。設立の経緯から、済生会の医療は社会奉仕の一環と位置づけられており、当院も大正 4 年(1915 年)開設以来、患者中心のしかも高度・良質な医療サービスを提供することをモットーに運営されている。大学病院にありがちな縦割り診療を排し、各科連携の下に EBM(Evidence-based medicine)に基づいた全人的医療を、全職員が一致協力して日々実践している。また地域医療への貢献のみならず臨床研究にも傾注し、内外の学会・雑誌にその足跡を残してきている。当院は厚生労働省の臨床研修指定病院であるとともに、日本内科学会や日本外科学会等に認定された高度かつ専門的教育・研修施設である。優秀な臨床医を目指す若い医師に研修の場を与え、医師として成長するために心技両面より教育を行うことを当院の大きな使命の一つと考えている。

2005 年に旧民生病棟の立て替え工事が完了し、旧民生病棟の病床、病院管理部門・事務部門、会議室、総合医局、臨床研修室、レジデントルーム、図書室、診療録管理室などが N 棟(現北棟)へ移転した。また、2008 年 5 月に旧民生病棟跡に新外来棟がオープンした。2012 年秋には、港区唯一の救命救急センターを開設、三次救急対応を開始している。2011 年 4 月に、薬剤・検査・画像部門などのオーダリングおよび画像参照が電子化され、2014 年 1 月に電子カルテへ全面移行した。当院は 2015 年に創立 100 周年を迎え、2014 年 10 月に新主棟(病棟、手術室、ER などを含む)着工、同年 5 月オープンした。

2. 研修病院の概要

1) 社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部東京都済生会 東京都済生会中央病院

- (1) 開設者：社会福祉法人^{恩賜財団}済生会支部東京都済生会 支部長 南 靖武
- (2) 責任者(院長)：高木 誠
- (3) 所在地：〒108-0073 東京都港区三田一丁目 4 番 17 号
- (4) 医療法の二次医療圏の名称：区中央部
- (5) 病院の概要(平成 31 年 4 月 1 日現在)

診療科名	内科	精神科	小児科	外科	心外	呼外	乳外	脳外	整形	形成	皮膚	泌尿	婦人科	眼科	耳鼻科	放射	放射	麻酔	検	病	緩和	救急	健診	臨床研修
医師数	67	3	4	9	6	2	2	2	10	3	5	4	7	5	4	5	1	8	1	3	1	9	3	21
一日平均入院患者数	446.9																							
一日平均外来患者数	1,152.6																							
平均在院日数	13.1																							

(6) 医療安全の体制

各病棟および職場に医療安全推進者(リスクマネージャー)が配置され、毎月開催される医療安

全管理委員会では、インシデント・アクシデントレポートの分析、事故防止策の立案・実施が討議されている。毎年 2 回以上、全職員を対象とした医療安全のための職員研修会が開催されている。院内には直接職員が対面する患者相談室も設置されており、また各フロア毎に投書箱が設置されている。

(7) 図書室および文献検索

図書室は、蔵書約 1,420 冊・雑誌 50 種類とも豊富で、24 時間使用可能である。図書室および総合医局では、インターネットを通じた欧文(Medline ほか)・和文(医中誌)の文献検索が常時可能であり、医中誌、Cochrane library、UpToDate、Procedures Consult などは、院内インターネット環境で医師全員が利用可能である。

(8) 病歴管理

診療録管理室には診療録管理士が配置され、ICD-10 に基づく病名コーディングを行っている。サマリーは電子化されており、診療録管理室はもとより、各病棟においても作成可能である。専修医のサマリー滞納は厳しく監視されており、滞納者には罰則規定が講じられる。

2) 東京都済生会向島病院

- (1) 所在地：〒131-0041 東京都墨田区八広 1-5-10 TEL 03-3610-3651 (代表)
- (2) 管理者：院長 塚田 信廣
- (3) 病床数：102 床
- (4) 標榜科；内科、神経内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科

3. 指導医・上級医リスト *印は厚生労働省認定臨床研修指導医養成講習会修了者

内 科

総合診療・感染症内科

- * 足立 智英 担当部長 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本老年医学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医・指導医)
- 小池 宙 医 員 (日本内科学会総合内科専門医、日本東洋医学会漢方専門医、日本病院総合診療医学会認定医)
- * 谷山 大輔 医 員 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医、日本感染症学会専門医・暫定指導医、国際渡航医学会認定医、ICD、JMECC インストラクター、ICLS コースディレクター)
- 土屋 悠海 医 員 (日本内科学会認定内科医、日本救急医学会専門医)

脳神経

- * 高木 誠 院 長 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医)
- * 星野 晴彦 副院長 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医、臨床修練指導医)
- * 足立 智英 医 長 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本老年医学会専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医・指導医)
- * 大木 宏一 医 長 (日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医)

山田 哲 副医長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医）

呼吸器

- *中村 守男 部長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸ケア指導士、ICD）
- *笹田 真滋 医 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本結核学会結核・抗酸菌症認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- *高橋 左枝子 医 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医、日本アレルギー学会専門医、日本禁煙学会認定指導者、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 小栗 知世 副医長（日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本禁煙学会認定指導者、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 石岡 宏太 医 員（日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医）

消化器

- *中澤 敦 担当部長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本カプセル内視鏡学会指導医、日本肝臓学会専門医・暫定指導医、日本東洋医学会漢方専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、臨床修練指導医）
- *船越 信介 副医長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本肝臓学会専門医・暫定指導医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医、日本乳癌学会乳腺認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 酒井 元 副医長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本抗加齢医学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- *岸野 竜平 医 員（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医）
- 三枝 慶一郎 医 員（日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医）
- 上田 真裕 医 員
- 星野 舞 医 員（日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医）

血液

- *菊池 隆秀 担当部長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本血液学会専門医、日本造血細胞移植学会造血細胞移植認定医、ICD）
- *塚田 唯子 医 長（日本内科学会認定内科医・指導医、日本血液学会専門医、日本骨髄バンク調整医師）
- 平尾 磨樹 医 員（日本内科学会認定内科医、日本血液学会専門医、日本骨髄バンク調整医師）
- 國枝 尚子 医 員（日本内科学会認定内科医、日本血液学会専門医、日本骨髄バンク調整医師）

腎 臓

- *竜崎 崇和 副院長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本透析医学会専門医・指導医、日本高血圧学会専門医・指導医）
- *井上 秀二 医 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医）
- *小松 素明 医 員（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医、日本透析医学会専門医）
- 藤井 健太郎 医 員（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医）

加藤 亜唯 医 員（日本内科学会認定内科医、日本透析医学会専門医）

糖尿病・内分泌

- *河合 俊英 担当部長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医・指導医、日本肥満学会専門医・指導医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター）
- *香月 健志 医 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医・指導医）
- *藤田 真隆 医 員（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医）
- *渥美 義大 医 員（日本内科学会認定内科医・指導医、日本糖尿病学会専門医、ICLS コースディレクター、JMECC インストラクター）
- 内田 順子 常勤嘱託（日本内科学会認定内科医）

腫瘍

- *船越 信介 担当部長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本肝臓学会専門医・暫定指導医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医、日本乳癌学会乳腺認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 小栗 知世 医 員（日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本禁煙学会認定指導者、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 酒井 元 医 員（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本抗加齢医学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）
- 青木 優 医 員（日本内科学会認定内科医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医）

循環器内科

- *中川 晋 顧 問（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会名誉専門医・指導医、日本集中治療医学会専門医、臨床修練指導医）
- *高橋 寿由樹 担当部長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本集中治療医学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、臨床修練指導医）
- *長谷川 祐 医 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医）
- *鈴木 健之 医 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医、頸動脈ステント留置術実施医、日本心臓リハビリテーション学会指導士）
- *平田 直己 副医長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本集中治療医学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医）
- *遠藤 彩佳 副医長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医）
- 武井 眞 医 員（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医）

精神科(心療科)

- *仁王 進太郎 医 長（日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、日本臨床精神神経薬理学会専門医、日本老年精神医学会専門医）
- 多田 光宏 医 員（日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医、日本臨床精神神経薬理学会専門医）
- 高橋 希衣 医 員（精神保健指定医）

小児科

- *荒木 清 部 長（日本小児科学会専門医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医・指導医、日本頭痛学会指導医）

- *藤野 元子 医 長 (日本小児科学会専門医、ICD)
- 天野 直子 医 員 (日本小児科学会専門医、日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医、
日本内分泌学会内分泌代謝科【小児科】専門医・指導医)
- 吉田 沙智恵 医 員

外 科

一般・消化器外科

- *原田 裕久 副院長 (日本外科学会専門医・指導医、日本血管外科学会認定血管内治療医、
心臓血管外科専門医認定機構心臓血管外科専門医・修練指導医、日本脈管学会脈管専門医、
日本血管外科学会認定血管内治療医、胸部・腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医、
下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術実施医・指導医)
- *遠藤 高志 担当部長 (日本外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医)
- *鳥海 史樹 医 長 (日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、
日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医)
- *大平 正典 副医長 (日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、
日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医、
日本内視鏡外科学会技術認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本移植学会移植認定医)
- 門多 由恵 医 員 (日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本肝臓学会専門医、
日本抗加齢医学会専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、
日本移植学会移植認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、
検診マンモグラフィ読影認定医)
- 小林 陽介 医 員 (日本外科学会専門医、日本救急医学会専門医、ICLS インストラクター、
日本 DMAT 隊員)
- 前田 祐助 医 員 (日本外科学会専門医、検診マンモグラフィ読影認定医)

心臓血管外科

- 廣谷 隆 常勤顧問 (日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会認定医・指導医)
- *大坪 諭 担当部長 (日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会認定医・指導医、
日本心臓血管外科専門医、心臓血管外科基幹施設修練責任者)
- 藤村 直樹 副医長 (日本外科学会専門医、日本心臓血管外科専門医、日本脈管学会脈管専門医、
日本血管外科学会認定血管内治療医、胸部・腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医、
下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術実施医・指導医、ICD)
- 吉武 秀一郎 副医長 (日本外科学会専門医、日本心臓血管外科専門医)
- 伊藤 隆仁 医 員 (日本外科学会専門医)
- 小林 可奈子 医 員 (日本外科学会専門医、胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医、
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医)

呼吸器外科

- *梶 政洋 担当部長 (日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会認定医、
日本呼吸器外科学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医・指導医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医、肺がん CT 検診認定機構認定医)
- 栗山 翔司 医 員 (日本外科学会専門医)

乳腺外科

- *佐藤 隆宣 担当部長 (日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、
日本消化管学会胃腸科専門医、検診マンモグラフィ読影認定医、乳房超音波講習会【A判定】、
日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会乳房再建用エキスパンダーインプラント
責任医師)
- 町野 千秋 副医長 (日本形成外科学会専門医)

脳神経外科

- *浅田 英穂 部 長 (日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医)

* 寺尾 聰 医 長 (日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医)

整形外科

柳本 繁 部 長 (日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医)
* 手塚 正樹 担当部長 (日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会指定脊椎脊髄外科指導医)
* 亀山 真 担当部長 (日本整形外科学会専門医、日本手外科学会認定手外科専門医)
塩野 雄太 医 長 (日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本脊椎脊髄病学会指定脊椎脊髄外科指導医)
* 武田 勇樹 医 長 (日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医)
小川 亮 医 員 (日本整形外科学会専門医)
森下 緑 医 員 (日本整形外科学会専門医)

形成外科

渡邊 美佳 副医長 (日本形成外科学会専門医)

皮膚科

海老原 全 副院長 (日本皮膚科学会専門医・指導医)
* 木村 佳史 部 長 (日本皮膚科学会専門医)

泌尿器科

井手 広樹 副医長 (日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本透析学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科【泌尿器科】専門医)
丹羽 直也 医 員 (日本泌尿器科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医)
小松田 明里 医 員 (日本泌尿器科学会専門医)

婦人科

* 岸 郁子 部 長 (日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、母体保護法指定医)
弟子丸 亮太 医 長 (日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本女性医学学会専門医)
河西 明代 副医長 (日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、母体保護法指定医)
* 小野寺 成実 副医長 (日本産科婦人科学会専門医・指導医)
塚田 ひとみ 医 員 (日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医)
大熊 優子 医 員 (日本産科婦人科学会専門医)
西山 紘子 常勤嘱託 (日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医)

眼 科

* 鴨下 衛 副医長 (日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会 PDT 認定医)
狩野 景子 医 員 (日本眼科学会専門医)
日高 悠葵 医 員 (日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会 PDT 認定医)

耳鼻咽喉科

* 岡本 康秀 部 長 (日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器認定医、日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医、日本耳鼻咽喉科学会認定騒音性難聴担当医、日本めまい平衡医学会認定めまい相談医)
渡部 佳弘 副医長 (日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医、日本気管食道科学会専門医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医)

放射線科

- *塩見 英佑 医 長（日本医学放射線学会放射線診断専門医・放射線専門医制度研修指導者、日本 IVR 学会専門医、検診マンモグラフィ読影認定医）
- 大堀 邦明 副医長（日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本核医学会核医学専門医、検診マンモグラフィ読影認定医）
- *金田 智 常勤嘱託（日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本超音波医学会専門医・指導医、検診マンモグラフィ読影認定医）

放射線治療科

- 笠松 智孝 医 長（日本医学放射線学会放射線治療専門医、日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医）

麻酔科

- *中塚 逸央 部 長（日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医）
- *柏木 政憲 担当部長（日本麻酔科学会麻酔科専門医・指導医）
- 三輪 桜子 医 員（日本麻酔科学会麻酔科専門医）
- 橋本 ひろか 常勤嘱託（日本麻酔科学会麻酔科認定医）
- 吉武 美緒 常勤嘱託（日本麻酔科学会麻酔科専門医）

病理診断科

- *廣瀬 茂道 部 長（日本病理学会認定病理専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医）
- 関 れいし 副医長（日本病理学会認定病理専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医）
- *玉井 誠一 常勤嘱託（日本病理学会認定病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医、日本臨床検査医学会臨床検査専門医・管理医）

緩和ケア科

- *赤松 秀敏 医 長（日本外科学会専門医・指導医、日本大腸肛門病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本緩和医療学会暫定指導医）

救急診療科

- *関根 和彦 部 長（日本救急医学会専門医・指導医、日本外科学会専門医・指導医、日本外傷学会専門医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本集中治療医学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本熱傷学会専門医、日本腹部救急医学会認定医・教育医、東京消防庁救急隊指導医）
- *菅原 洋子 医 員（日本救急医学会専門医・指導医、日本内科学会認定内科医、東京消防庁救急隊指導医）
- *入野 志保 医 員（日本救急医学会専門医、東京消防庁救急隊指導医）
- 武部 元次郎 医 員（日本救急医学会専門医、日本外科学会専門医、東京消防庁救急隊指導医、ICLS コースディレクター、日本 DMAT 隊員）

臨床検査医学科

- *窓岩 清治 部 長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本血液学会専門医・指導医、日本臨床検査医学会臨床検査専門医・管理医）

総合健診センター

- *河合 俊英 センター長（日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医・指導医、日本肥満学会専門医・指導医、日本医師会認定健康スポーツ医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター）
- 宮原 裕美 常勤嘱託（日本内科学会認定内科医、日本人間ドック学会人間ドック健診専門医）
- 仲里 佐和子 常勤嘱託（日本人間ドック学会人間ドック健診認定医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士）

4. 諸学会認定研修教育指定

- ・日本内科学会 認定教育病院
- ・日本脳神経外科学会 専門研修連携施設
- ・日本外科学会 外科専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会 研修施設
- ・日本麻酔科学会 麻酔科認定病院
- ・日本眼科学会 専門医制度研修施設
- ・日本消化器外科学会 専門医修練施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会 専門医研修施設
- ・日本形成外科学会 認定施設
- ・日本皮膚科学会 認定専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医教育施設
- ・日本病理学会 研修認定施設 B
- ・呼吸器外科専門医合同委員会 認定修練施設（関連施設）
- ・日本呼吸器学会 認定施設
- ・日本消化器病学会 認定施設
- ・日本血液学会 専門研修認定施設
- ・日本糖尿病学会 認定教育施設
- ・日本循環器学会 循環器専門医研修施設
- ・日本超音波医学会 超音波専門医研修施設
- ・日本集中治療医学会 専門医研修施設
- ・日本胸部外科学会 教育基幹施設（心臓血管外科・呼吸器外科）
- ・日本透析医学会 認定施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会 認定施設
- ・日本神経学会 教育施設
- ・日本消化器内視鏡学会 指導施設
- ・日本肝臓学会 認定施設
- ・日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関
- ・日本腎臓学会 研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会 研修施設
- ・日本臨床細胞学会 施設認定
- ・日本脳卒中学会 研修教育病院
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構 基幹施設
- ・日本がん治療認定医機構 認定研修施設
- ・日本手外科学会 研修施設
- ・日本認知症学会 教育施設
- ・日本緩和医療学会 認定研修施設
- ・日本乳癌学会 認定施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設
- ・日本高血圧学会 専門医認定施設
- ・日本内分泌学会 認定教育施設
- ・日本老年医学会 認定施設
- ・日本気管食道科学会 気管食道科専門医研修施設（咽喉系）
- ・日本救急医学会 救急科専門医指定施設
- ・日本病院総合診療医学会 認定施設
- ・日本消化管学会 胃腸科指導施設
- ・日本カプセル内視鏡学会 指導施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建エキスパンダー実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 乳房再建インプラント実施施設
- ・日本東洋医学会 研修施設
- ・日本腹膜透析医学会 教育研修医療機関
- ・関連 10 学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 認定研修施設

- ・日本アレルギー学会 アレルギー専門医準教育研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会 認定研修施設
- ・関連 10 学会構成日本ステントグラフト実施基準管理委員会 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・日本救急医学会 指導医指定施設
- ・日本外傷学会 外傷専門医研修施設
- ・日本臨床検査医学会 認定研修施設
- ・日本感染症学会 研修施設
- ・関連四学会構成浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ・下肢静脈瘤血管内焼灼術実施・管理委員会 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本 IVR 学会 専門医修練施設
- ・日本骨髓バンク・日本造血細胞移植学会 非血縁者間骨髓採取認定施設
- ・経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会 経カテーテル的大動脈弁置換術実施施設
- ・日本造血細胞移植学会 非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科

5. プログラム管理体制

1) プログラム総括責任者

内科専門医研修 東京都済生会中央病院内科部長 中村 守男

麻酔科専門研修 東京都済生会中央病院麻酔科部長 中塚 逸央

救急科専修医研修 東京都済生会中央病院救急診療科部長 関根 和彦

2) 後期研修医（当院では専修医と呼称）勤務規定、顕彰・処罰規定

勤務規定は、別途定める当院の就業規則ならびに医師勤務手引に準ずる。就業規則あるいは医師勤務手引に照らして著しく言動に問題のある場合は、院内服務規律に準じて処罰される。

3) 後期研修医（当院では専修医と呼称）採用方法

毎年、当院初期臨床研修プログラム修了者で引き続き本プログラムへの参加を希望する者、あるいは他病院で初期研修プログラムを修了（見込を含む）し、本プログラムへ参加を希望する者が、所定の書式により応募を行い、採用試験を経て採否が決定される。採用試験は、書類選考ならびに面接により行われ、採否結果は 2 週間以内に本人に文書にて通知する。

4) 研修休止・中断に対する処置

身体的・社会的・経済的理由などにより、研修継続が困難な状態に陥った場合、統括責任者は、各専門研修プログラムに従い、適切な対応を行う。

6. プログラム修了後のコース

各専門研修プログラムを修了した者は、当院各科の医員採用への希望を提出できる。但し各プログラムともに定員が別途定められており、希望者が必ず採用されるとは限らない。

（参考）最近の専修医養成実績（2019 年 4 月 1 日現在）

1988 年～2017 年採用研修医総数	301 名
そのうち当院専修医となった者	71 名
そのうち当院スタッフとなった者	34 名
そのうち何らかの専門資格を有する者	31 名

7. 処遇

- (1) 身分：常勤、専修医（1年毎に契約更改を行う。）
- (2) 給与（2018年度月額、2017年度年間賞与）

専修医 1年次	固定給月額 373,000円	} +勤務実績に応じた手当（時間外手当、宿日直手当等+年間賞与）
専修医 2年次	固定給月額 381,300円	
専修医 3年次	固定給月額 399,600円	
専修医 4年次	固定給月額 407,900円	

※上記固定給月額の他に、規定に応じて住宅手当、扶養手当の支給あり。

※原則として研修期間中の院外アルバイトは認めない。

- (3) 宿舎：なし。各自で調達する。住宅手当あり。
- (4) 食事：職員食堂（食費補助あり。）
- (5) 社会保険（公的医療保険、公的年金、労災保険、雇用保険）：全てに適用有
- (6) 勤務時間：原則として午前9時より午後5時30分までであるが、ローテーションにより早出が求められる場合もあり、夕方にカンファレンスがある場合には、終了は午後7時以降となる。また患者が重症あるいは急変などで夜間に呼び出される場合がある。
- (7) 院外施設での出張・診療行為に関する事項：研修期間中は、東京都済生会関連施設（特別養護老人ホーム港南の郷）での診療（週半日程度）を命ずることがある。これ以外の院外施設での出張・診療行為は、原則認めない。
- (8) 休日は第2・第4土曜、日曜・祝日、年末年始（12月30日～1月4日）で、第1・第3・第5土曜は半日勤務（4時間）である。休暇として特別休務日（2日/月）、有給休暇（年間14日）、慶弔休暇が与えられる。その他、原則週1回程度当直業務が割り当てられる。
- (9) 健康管理に関する事項：年2回の職員検診が義務づけられている。体調不良時には、産業医と相談の上、カリキュラムを弾力的に運用する。
- (10) 医療事故への対応：後期研修医（専修医）は主治医となり、個人的な責任を負う。ただし、重大事故発生の場合は、直ちに指導医・上級医を経て医療安全管理委員会および病院長へ報告をしなければならない。医師賠償責任保険の個人加入は必須である。
- (11) 机・本棚：スタッフルームとしては、主棟3階または外来棟3階に確保されており、個人用の机、本棚が整備されている。図書室の文献コピーは全て無料で行える。
- (12) 自主的な研修活動に関する事項：研究会参加については、統括責任者の判断により許可される。自身が公的学会で発表する場合には、出張申請と統括責任者（内科は各診療科責任者）の承認により、原則としてそれに要する費用（交通費、宿泊費等）が病院より支給される。